

18 さいたま赤十字病院

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）198名（うち指導医数 54名）
- 研修医数 1年目 15名 2年目 15名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・順天堂大学・千葉大学・自治医科大学・筑波大学・帝京大学・東京大学・東京医科大学・富山大学・東京慈恵会医科大学・徳島大学・獨協医科大学・奈良県立医科大学・新潟大学・日本大学・山梨大学・福島県立医科大学・横浜市立大学
- 診療科 肝・胆・膵内科 消化管内科 呼吸器内科 血液内科 膠原病・リウマチ内科 腎臓内科 糖尿病内分泌内科 総合臨床内科 腫瘍内科 脳神経内科 循環器内科 心療科 小児科 外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 形成外科 リハビリテーション科 放射線診断科 放射線治療科 麻酔科 緩和ケア診療科 口腔外科 病理診断科 救急科
- 1日平均外来患者数 1324名 ● 1日平均入院患者数 525名
- 主な認定施設 総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、基幹災害拠点病院

研修プログラムの特色

- ・ 高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
- ・ 選択研修期間が40週あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って研修スケジュールを組むことができます。
- ・ 月に1度「研修医ミーティング」を開催し、プログラム責任者と研修医がそれぞれの研修状況について情報共有をします。不安な点や、改善して欲しい点など意見を出し合い、研修医たちの意見を反映したより良い研修環境を作ることができます。



プログラム例 さいたま赤十字病院臨床研修プログラム(募集定員15名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						外科	選択必修	救急科			産婦人科	
2年目▶	小児科	精神科	地域医療	自由選択									

○内科24週（うち4週は総合臨床内科）、外科8週、救急12週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週必修、選択必修4週：以下より1診療科選択（呼吸器外科、乳腺外科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、形成外科）

○自由選択40週（消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、膠原病・リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急科、検査部、病理診断科）

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次30万円/月 2年次35万円/月
- 諸手当▶ 通勤手当、住宅手当、時間外手当、日・当直手当、賞与（1年次10万円、2年次20万円）
- 保険▶ 組合健保（埼玉県医師会健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入）※個人は任意
- 勤務時間▶ 8時30分～17時00分
- 当直▶ あり（4回/月）
- 休暇▶ 有給休暇（1年目：10日※入職から半年後に付与、2年目：11日）
- 宿舎▶ なし
- その他▶ 研修医室あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 埼玉県立小児医療センター
- ・ 埼玉精神神経センター
- ・ 特別養護老人ホーム ナーシングヴィラ与野
- ・ 高齢者総合福祉施設 敬寿園
- ・ 埼玉県赤十字血液センター
- ・ 埼玉県内保健所
- ・ 原町赤十字病院(群馬県)
- ・ あきもと内科クリニック
- ・ 自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ その他5施設



当院の魅力

研修医の方の声を聞いてみました！

当院は年間を通じて研修医を対象とした院内勉強会（モーニングカンファレンス、感染症勉強会、ERカンファレンスなど）や、手技の習得を目指した実習（縫合実習、CV穿刺講習会など）を開催するため学年を問わず自然と研修医間の雰囲気は良くなります。そこで研修中の先生方に当院の魅力や志望理由を聞いてみました！

- ・研修医の雰囲気が明るくて楽しそうに仕事をしていましたこと
 - ・診療科同士が連携できていること
 - ・上級医の先生が優しいです。
 - ・院内がきれい！
 - ・当院は自由な雰囲気が最大の魅力であると思います。どのようなことでもやりたいと伝えればやらせて頂けますし、疑問点も気軽に上級医の先生方へ尋ねることが出来ます。また、職種間の連携がしやすい雰囲気もあり、垣根が低いためとても働きやすいと思います。
 - ・自由度の高いプログラム
 - ・救急対応がとても勉強になると思います！
 - ・充実した教育体制
 - ・common diseaseから高度医療まで幅広く学べる環境です。
 - ・先生方や看護師をはじめコメディカルスタッフ、職員の方々が皆さん優しいです。
 - ・内科、外科、救急科、マイナー科をバランスよく研修できる点
 - ・研修医室の雰囲気が良い。
- 様々な意見がありますね！是非見学にお越しの上確かめていただけたらと思います。



研修責任者から



プログラム責任者
甲嶋 洋平

さいたま赤十字病院は、人口130万人のさいたま市の基幹病院として急性期から慢性期の医療を幅広く担っています。急性期では、3次救急患者さんに対応するため高度救命センター、riskの高い妊産婦さんに対応するため周産期センターがあります。またER体制をとっており、24時間積極的に患者さんの受け入れを行っております。慢性期では、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に認定されており、全科にわたり専門的に患者さんの診療にあたっています。当院は、プログラム基幹病院で独自のプログラムを擁しています。積極参加型の研修をモットーとしており、研修医の先生方自らが、指導医とともに患者さんの治療に取り組んでいます。また先輩研修医の後輩研修医への面倒見の良さが長年にわたり受け継がれております。心技体ともに充実した研修をお約束いたします。

先輩研修医から



研修医2年目
中村 祐基

当院は、さいたま新都心駅から徒歩4分、高度救命センターを有する県の中核病院です。

幅広い科を有し、各科の診療科の先生が優しく丁寧に教えていただけるのは勿論ですが、初期研修に際し素晴らしい環境が整っています。感染症勉強会やレントゲン勉強会、救急外来症例検討会といった参加任意ではありますが数多くの勉強会が上級医の先生と共に行えるため、数多くの学びが得られます。また、手技や経験できる症例も多岐にわたるのも当院の特徴の一つです。隣の病院にはエコーやCVをはじめ内視鏡の練習までできる研修センターが完備されています。

何より、当院の研修医は先輩後輩の垣根を超えた仲の良さが最大の魅力です。是非見学で少しでも良さを感じていただければ嬉しいです！お待ちしております！

当院は3次救急を担う高度救命センターを有しており、Common Diseaseから重症内科疾患、外傷と幅広く診療することができます。

初期研修病院を選ぶ上で、私はどこの病院に行ったとしても、自分のやる気次第でいくらでも経験できると思っています。結局は自分の頑張り次第ですが、当院には「求める分だけ応えてくれる」環境があります。もちろん、指導医の万全なバックアップ体制のもとですので安心して研修ができます。ぜひ当院と一緒に成長しましょう！



研修医1年目
峯岸 昌代



女性医師支援コーナー

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除
- ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除
- ・子の看護休暇（年間5日間）

・出産祝金、育児休業復帰一時金

- ・産前産後休暇、育児休暇
- ・日本赤十字社は、職員の育児と仕事の両立を支援している企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定を受けています。

連絡先

さいたま赤十字病院

教育研修課

〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5

TEL 048-852-1572 (直通) FAX 048-852-3120

E-mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp

URL http://www.saitama-med.jrc.or.jp

アクセス JRさいたま新都心駅から徒歩4分、JR北与野駅から徒歩6分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

- ・当院ホームページに掲載
- ・見学希望の方はホームページからお申込ください。